



1_男子3連覇、女子2連覇のアベック優勝を果たした駅伝メンバー。 2_女子スタートの号砲直後は混戦。
3_たすきリレーの直前。走者全員の想いを繋ぐ。 4_アンカーの伊藤くん。金山中男子3連覇の瞬間。

▼男女駅伝メンバー ※敬称略

	男子	女子
1区	柴田 優也	高橋 美里
2区	星川 心之介	丹 美空
3区	和田 宣人	佐藤 礼菜
4区	岸 益幹	三上 葵音
5区	柿崎 寛栄	須賀 天音
6区	伊藤 翔太	

「目標より早く走れた。新記録に貢献できて良かった」と話すのは、エースが出揃う1区で区間賞の活躍を見せた柴田優也くん。その他にも、男子では全6区間中5区間で金山中が区間賞を獲得しています。「目標は東北大会出場」。

県大会が勝負

「金中旋風」に沸く
平成29年度の最上地区中学校駅伝大会において、金山中駅伝チームが男女アベック優勝を果たしました。同大会、男子は3連覇、女子は2連覇の快挙となります。加えて、男子は1時間を切る大会新記録での優勝。会場は「金中旋風」に沸きました。

男子3連覇・女子2連覇
地区中学校駅伝大会 金山中男女アベック優勝！

金山中が強い理由

「特別な練習はしていないが、生徒たちに意識づけし、勝ちにこだわった練習をしてきた」と明石先生は勝因を話します。さらに「金山の子供たちは走ることが苦でないのかもしれない」と分析する背景には、クロスカントリースキーなどで培われた持久力があるのかもしれません。

一方、女子メンバーは「自分のレースに納得がいかない」と口を揃えます。「結果的に優勝したけれど、私たちはまだまだ走れる」。これがメンバー全員の本音。県大会ではチームベストを目指します。

そう意気込む和田宣人くんの表情は真剣そのもの。顧問の明石先生は「県大会では、1時間を切るチームがごろごろいる。個々人が9月までどれだけタイムを縮められるかが、県大会入賞のカギだ」と話し、選手たちを鼓舞します。

この会場で最後の大会となった今年、金山中男子が打ち立てた大会新は不滅の記録。来年はいよいよ過去に例のない男女アベックでの3連覇に挑戦です。さらなる高みに向かって頑張れ、金山中！